

11. 真庭市図書館みらい計画 実施状況

「真庭市図書館みらい計画」(令和3年(2021年)策定)では、図書館運営の評価方法として、①実貸出利用率、②市民、団体、学校との協働事業の内容と開催数と参加人数の推移、③市民による評価点と課題、の3つを設定しています。①実貸出利用率は、年間1度でも図書館で資料を貸出した人の数が人口に占める割合で、全国的に高いレベルの図書館運営を行っている自治体での数値(30%)に近づけていくこととしています。

以下、①,②を見るための数値として、(1)実貸出利用率(p.24)、(2)市民、団体、学校との協働事業の内容と開催数と参加人数(p.25~26)、③の評価点や課題の洗い出しに必要な情報として、(3)図書館そだて会議(p.27~35)、(4)「真庭市図書館みらい計画」の取り組み状況(p.36~45)を掲載します。

(1) 実貸出利用率 (再掲)

	人口(a)	貸出者数(b) [市民のみ重複なし]	実貸出利用率 (b)÷(a)×100
R4(2022年度)	42,102人 (R5.4.1)	4,681人	11.12%
R3(2021)年度	43,094人 (R4.4.1)	4,827人	11.2%
R2(2020)年度	43,915人 (R3.4.1)	4,688人	10.68%

○ 実貸出率について

「図書館みらい計画」を策定した令和3年度に比べ来館者数は4,913人増加したにもかかわらず(p.10)、貸出者数の増加にはつながりませんでした。

本を借りるためではなく、イベント等で図書館へ訪れた市民が、「こんな本もあるんだな」「借りてみたいな」と興味を抱くような、図書館資料を手に取りたくするような偶然の出会いを生み出せるよう、今後も各図書館で知恵を絞っていきます。

(2) 市民、団体、学校との協働事業の内容と開催数と参加人数

(p.14~22「事業報告」で◎印をつけています)

館名	事業：協働相手	回数	参加者数
中央	【新規】「絵本塾」：市民	10	67
	【新規】「まにわ図書館ラジオ」：市民	2	-
	「おはなしひろばクレヨン」(読み聞かせなど)：市民	11	338
	「まほうのポケット」(読み聞かせなど)：市民	8	45
	「朗読会」(広報の音訳など)：市民	12	73
	「月イチ映画会」：市民	12	768
	アート展示：市民	6	-
	蒜山ミュージアムに所蔵する隈研吾氏著作の登録・整備：生活環境部スポーツ文化・振興課	-	-
	そのほか：放課後等デイサービス,スポーツ文化振興課,生涯学習課,環境課,NPO 法人,学校,企業,放送局,子ども園,放課後児童クラブ	35	-
北房	【新規】「北房から世界を見てみよう」(新聞記事を読みあい話し合う)：市民	15	65
	【新規】「おもしろ！算数教室」：市民	5	46
	「みんな集まれ」(読み聞かせなど)：市民	11	20
	「スマイルキッズ」(読み聞かせなど)：市民	11	24
	「北房古典をたのしむ会」：市民	23	137
	そのほか：学校	1	45
落合	「わくわくブック」(読み聞かせなど)：市民	12	27
	「親子スウィートブック事業」(読み聞かせなど)：市民	9	114
	「絵本 200 冊ドーンと並べるよ！×1/2」：市民	4	20
	工作教室,手芸教室など：市民、学校、振興局	5	59
久世	「ぽかぽかえほんばこ」(読み聞かせなど)：市民	48	518
	「おはなし列車」(読み聞かせなど)：市民	48	199
	「どうぶつしょうぎ」：市民	12	32
	そのほか：市民,学校	7	90
湯原	【新規】こども園とのコラボイベント：こども園	3	57

	プチもちより図書館、「帯姫と彦帯を飾ろう」：市民	2	-
	交流スペースでのカフェ出店：商店	29	-
	「図書館そだち会議」：市民	3	27
	「はんざき絵本づくりワークショップ」：市民	1	10
	そのほか：こども園	1	13
美甘	「本でおしゃべり会」：市民	3	19
蒜山	【新規】「おはなしの時間みるく」：市民	4	19
	【新規】「ハートフルおはなし会」：市民	6	21
	「お話の日 昔話の語り」：市民	21	101
	キムチづくり、刃物研ぎ教室、クリスマス会など：市民、公民館	8	78
	「蒜山ミュージアム」に所蔵する隈研吾氏著作の登録・整備：生活環境部スポーツ文化・振興課	-	-
	そのほか：地域おこし協力隊、学校、福祉課	3	50

○ 市民、団体、学校との協働事業の内容と開催数と参加人数について

本年度、中央図書館、北房図書館、湯原図書館、蒜山図書館で市民や地域のこども園などと協働して行う事業が新しく始まり、昨年度よりも協働先が広がりました。

中央図書館の「まにわ図書館ラジオ」や北房図書館の「北房から世界を見てみよう」は、まちの「人」、地域の「人」に注目して、魅力を再発見する取り組みです。蒜山図書館では子どもに読み聞かせをするグループが2つ誕生し、子どもが豊かな本の世界に出会うきっかけづくりに繋がることでしょう。中央図書館ではNHK岡山による岡山の子どものための教育コンテンツ「考える岡山」に蒜山と勝山が取り上げられたことから、NHK岡山とともに関連パネルの展示を行いました。また、中央図書館と蒜山図書館は蒜山ミュージアムの隈研吾氏著作の整備にも関わりました。